

## 二酸化炭素貯留適地調査事業

(実施期間：2014年度～)

技術テーマ区分番号：⑫

主な実施場所：日本全国各地

### 取組活動の内容

#### ● 経緯・背景など

CCS（二酸化炭素回収・貯留）を行うには、CO<sub>2</sub>を地中に安定して大量貯留できる地層が必要です。過去の調査（2005～2012年）によると、国内には約2,400億トンのCO<sub>2</sub>貯留ポテンシャルがあると推定されています。しかし、基礎データに基づく推定であり、個々の候補地点の貯留ポテンシャルを評価するためには、より詳しい調査が必要です。

#### ● 方針・アプローチなど

既存の資料や文献から候補地の調査をはじめます。その結果、大きな貯留ポテンシャルを有すると期待される貯留地点において、弾性波探査により得られたデータを基に、海底下地層の詳細調査を実施し、貯留性能、遮蔽性能、地質構造の安定性、海洋環境保全の観点から、貯留層のポテンシャル評価を行い、CO<sub>2</sub>の貯留に適した範囲を絞り込みます。

#### ● 期待される効果・今後の課題や展開など

本事業を通じて、1億トン以上のCO<sub>2</sub>の貯留が期待される安定した貯留適地候補地点が複数選定されることにより、CCSの早期社会実装への貢献が期待されています。

### 関連外部リンク先

- [貯留適地調査事業](#)

### イメージ図

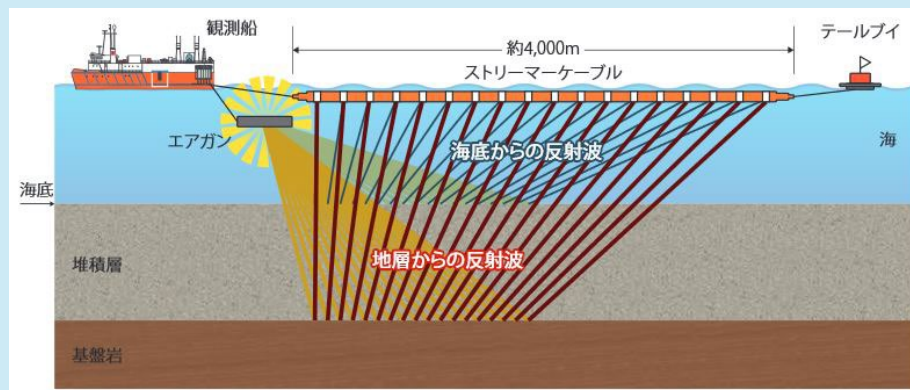


図1：弾性波探査の概念図



■ エアガンを海中に投下



■ ストリーマーカーケーブルを海中に投下中

図2：弾性波探査の様子

### 公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- 経済産業省および環境省の共同事業「二酸化炭素貯留適地調査事業」（2014年度～）